

山梨県立 Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

考古博物館だより



HP ACCESS

No. 99

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

✉ @yamanashi_kouko f @yamanashi.kouko1103

Ootsuka Ancient Tomb

帆立貝形の秘密って？

帆立貝古墳のミステリー

Mystery of the scallop shaped tomb

令和 7 年度

春季企画展

帆立貝古墳のミステリー

三珠大塚古墳と
甲府盆地の 5 世紀

令和
7 年度

イベント予定一覧掲載号

第 41 回特別展開催報告

第 22 回わたしたちの研究室

風土記の丘研修センター利用案内

画像 上：三珠大塚古墳現況・下：三珠大塚古墳推定図

春季企画展

2025 4.19(土) - 6.15(日)

帆立貝古墳のミステリー

—三珠大塚古墳と甲府盆地の5世紀—

山梨県西八代郡市川三郷町に所在する「大塚古墳」は、平成5(1993)年、前方部の耕作中に竪穴式石室が発見されたのを皮切りに、平成6～7(1994～1995)年にかけて市川三郷町および山梨県埋蔵文化財センターなどによって調査が行われました。その結果、平成9(1997)年には山梨県指定史跡となり、出土品の多くは県指定文化財に指定されています。出土品には短甲・挂甲(けいこう)などの甲冑や、直刀、鉄鏃、胡籥(ころう)といった軍事的なもの、鈴釧(すずくしろ)・鈴鏡など祭祀的なものがあり、優品が目立ちます。これらの出土品についての詳細は長らく謎に包まれてきましたが、令和4年度より市川三郷町教育委員会が再整理を進めるとともに墳丘の再発掘なども行っており、新たに報告書も刊行予定となっています。そこで本展では、近年、同町教育委員会が実施している再整理事業によって明らかになってきた新知見をもとに、当時の甲府盆地の様子や倭王権との関わり、そしてその被葬者像などを深掘りします。

観覧

無料

休館日

毎週月曜日

5月7日(水)

※5月5日は開館

主催：山梨県立考古博物館 共催：市川三郷町教育委員会



詳しくはコチラへ

「帆立貝古墳」とは？

古墳の一種で、その名の通り帆立貝のようなカタチをしています。「帆立貝形」「帆立貝式」とも呼ばれますが、本展では狭義的に「帆立貝古墳」として紹介しています。5世紀後半の甲府盆地では、大塚古墳のほかにもこの形式の古墳が相次いで築かれました。これらの古墳では、一度伝統が途絶えた埴輪を備え、武具や馬具などを揃えるなどの画一性がみられることから、当時の甲府盆地の政治的状況を考える上で注目を集めています。

【画像】右から：六鈴鏡 / 胡籥 / 横羽板鉄鍔短甲 大塚古墳 市川三郷町教育委員会蔵

8世紀

飛鳥時代

●672年 壬申の乱

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

●7世紀中頃

7世紀

古墳時代終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

●古墳時代後期・終末期

6世紀

古墳時代後期

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

●5世紀後半～6世紀

5世紀

古墳時代中期

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

●5世紀後半

4世紀

古墳時代前期

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

●4世紀初頭

3世紀

弥生時代

●239年 女王卑弥呼

●239年 女王卑弥呼

●239年 女王卑弥呼

ギャラリートーク

参加費無料

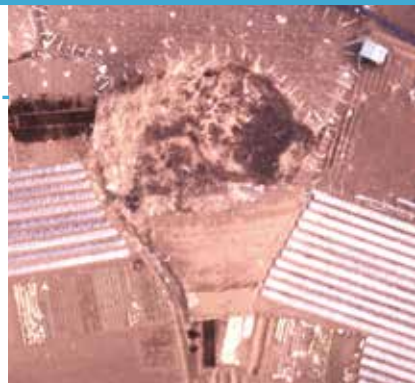
5.5 こどもの日 月祝

in 企画展示室

担当学芸員によるギャラリートーク(展示解説)を行います。事前予約不要、当日の希望の時間帯(①か②)にお集まりください。

① 10時～ ② 13時30分～

平成5年度調査大塚古墳空中写真▶



夏季企画展

2025 7.12 (土) - 8.31 (日)

釣手土器の世界



休館日

毎週月曜日・7月22日(火)

※7月21日・8月11日は開館

角度によって表情が変わる不思議な土器

釣手土器(つりてどき)は、縄文時代中期の中部高地(山梨県と長野県にまたがる八ヶ岳を中心とした地域)に集中して分布している不思議な形の土器で、器の中で火を灯してランプのように使われていたと考えられています。物語性が強く、見る角度によって違う姿が浮かび上がる特徴があり、実用的なものというよりは儀礼的な土器とみられます。本展では、近年の発掘調査で増加傾向にある特殊器形の釣手土器にスポットを当て、さまざまな事例を見比べながら、その奇妙で特異な造形から当時の人々の心にせまります。

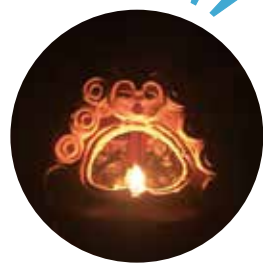
※会期中にはギャラリートークも開催予定!
詳細は順次ホームページ等にて公開します。

【画像】左: 釣手土器 安道寺遺跡 [撮影: 小川忠博]
右: 釣手土器 佐肥道遺跡



観覧

無料



▲灯火イメージ

PAPUA×JOMON

縄文文化の謎を考えるーパプアニューギニアの民族誌ー

第42回
特別展

2025 9.27 (土) - 12.7 (日)

休館日

毎週月曜日

※10月13日・11月3日・24日は開館

観覧料

※常設展は別途観覧料 220 円

一般・大学生

600 円

◇小・中・高校生

◆県内在住の 65 歳以上

◇障がい者手帳をお持ちの方と
付き添いの方 1 名

無料

南太平洋に位置するパプアニューギニアは、熱帯雨林や火山といった、厳しくも多彩な自然環境が織りなす独自の文化で知られています。中でも「プリミティブ・アート(部族芸術)」と総称される PNG(パプアニューギニア)アートには、800を超える部族の歴史と信仰が刻まれており、アフリカン・アートや日本の縄文文化を彷彿とさせるような躍動感あふれる美しいデザインが今なお息づいています。本展では、早稲田大学考古学研究室が長きにわたり調査研究してきたパプアニューギニアの民俗誌と、多種多様な日本の縄文資料を比較紹介することで、縄文文化を新たな視点から深掘りします。

【背景画像】パプアニューギニアの儀式イメージ

研究成果 展示会

本コンクールの「強み」はなんといっても「形式自由」なところ！ 模造紙やレポート作品だけでなく、土器をはじめとした立体物や動画、数メートル規模の巨大な作品まで幅広く受け入れており、そのすべてを実際に考古博物館の展示室で「研究成果展示会」と銘打ち、公開しています。



超BIGサイズのカラフルなこいのぼり(!)も登場。自由な形式ならではの楽しい展示室♪



専用ページはコチラ



土器や石包丁といった製作物と一緒に展示することで、体験時の臨場感が伝わってきます。

通常の自由研究公募では枚数制限や形式指定があることがほとんどですが、当館ではより自由に、より独創的に探求してほしいという想いから、敢えて制限なく募集をしています。そのため、個人だけでなく団体で取り組んだ成果を披露する場としても活用でき、これまで学校でしか公開できなかった作品をより多くの方に見ていただくことも可能です。また、優れたアイディアを一挙に見られることから、応募者だけでなく、自由研究に悩むすべての児童・生徒および保護者のみなさんにとっても取り組み方のヒントを得られる絶好の機会となっております。ぜひ来年度も引き続き作品をご応募いただくとともに、未来の研究者たちによる研究成果にご期待ください！

開催 報告

第41回 特別展

縄文時代の不思議な道具

2024 9.28(土) - 11.24(日) OP セレモニー 9.27(金)

わからないから面白い、不思議な出会い。

令和6年度の特別展はちょっと変わった縄文の道具にスポットを当て、全国各地から使い道がわかりそうでわからない、ユニークな遺物が集まりました。会期中には、不思議な道具に名前をつけてみようというコンセプトのもと、お気に入りの1点を選んでイラストを描き、オリジナルの名づけをしてもらうという企画を実施。つぶさに観察し、自ら名づけるという体験によって、来館されたみなさんにとっても縄文時代の遺物を遠い時代のものとしてではなく、より身近で面白いものとしてとらえていただく機会となったように思います。



県関係者と地元小学校の児童会長たちによるテープカットの様子



命名
たこうちゅうじん



見たまんま
オブ・ザ・イヤー

釣手土器 安道寺遺跡▶



命名
ふうわーちゃん



この名前にした理由

お花がさいてる
みたいだから。

理由カワイイ！

命名
ゴン太くんミニ



同じモノを連想した
見知らぬ二人！

命名
ゴン太くん



ミニチュア土器
酒呑場遺跡

不思議な
道具に

名前をつけよう

みなさんが名づけてくれたものの中からほんの一部をご紹介します！

ミステリアスでちよつとおかしな縄文の道具が大集合！

第22回受賞者集合写真



今年度は令和7年1月25日(土)に優秀作品(以下参照)を対象とした表彰式および研究発表会を行い、同日1月25日(土)～2月23日(日)の期間には応募作品すべてを一堂に展示する「研究成果展示会」を開催しました。応募作品総数501点、参加者総数670名もの児童・生徒のみなさんにご応募いただき、賞の有無にかかわらず、子どもならではの自由な視点と発想力を活かした力作の数々が展示室を彩りました。

▼ 第22回受賞者一覧 [最優秀賞：県知事賞 / 優秀賞：県考古学協会長賞 / 優良賞：山梨県立考古博物館長賞]

個人研究部門 小学校の部

最優秀賞 山梨市立日下部小学校
5年 堀込壮真 さん

「私の住む地域の
中世のいせき」

優秀賞 南アルプス市立
白根源小学校
5年 塩谷翔太郎 さん
「土器と土偶」

優秀賞 中央市立玉穂南小学校
2年 小山田実杜 さん
「さいがいに そなえて
わたかな 中おうし」

優良賞 都留市立宝小学校
6年 堀内美結 さん
「弥生時代をマインクラフトで
作ってみよう」

個人研究部門 中学校の部

最優秀賞 甲州市立勝沼中学校
1年 内田瑛梧 さん
「菱山小学校150年の歴史」
～学校沿革誌と学制百年記念誌から
分かること～

優秀賞 甲州市立塩山中学校
1年 網野瑠里 さん
「縄文文化の栄えた山梨県」

優秀賞 甲州市立塩山中学校
1年 古屋想 さん
「縄文土器について」

優良賞 甲州市立塩山中学校
2年 天野秀哉 さん
「守れ！残せ！上条集落」

優良賞 山梨大学教育学部
附属中学校
2年 大森凜 さん
「伝統を受け継ぐ」
～鶴飼を通じて学ぶ～

団体研究部門

最優秀賞 駿台甲府小学校
5学年のみなさん
「～発展考古学～
わたしたちは弥生人！
2024」

優秀賞 甲州市立松里中学校
1学年のみなさん
「甲州市塩山松里地区の
伝統行事を調べる」
～道祖神祭りの太鼓乗りの
創作演劇を通して～

優良賞 山梨市立岩手小学校
6学年のみなさん
「Let's enjoy Jomon life.」
～岩手地区縄文生活復興計画～
小学校に縄文村をつくることか
ができるか？

優良賞 山梨県立
わかば支援学校
中学部2学年のみなさん
「山梨県の歴史に触れよう」
～学区地域(南アルプス市)の
文化や遺跡から～

優良賞 山梨県立
わかば支援学校
ふじかわ分校
中学部1・2学年のみなさん
「縄文時代の人のくらし」

参加小学校

- ◆ 南アルプス市立白根源小学校
- ◆ 中央市立玉穂南小学校
- ◆ 中央市立田富南小学校
- ◆ 韮崎市立甘利小学校
- ◆ 山梨市立日下部小学校
- ◆ 山梨市立八幡小学校
- ◆ 山梨市立岩手小学校
- ◆ 甲州市立東雲小学校
- ◆ 甲州市立大和小学校
- ◆ 都留市立宝小学校
- ◆ 駿台甲府小学校
- ◆ 山梨大学教育学部附属小学校

参加中学校

- ◆ 甲州市立北東中学校
- ◆ 山梨市立山梨南中学校
- ◆ 山梨市立山梨北中学校
- ◆ 山梨市立笛川中学校
- ◆ 甲州市立塩山中学校
- ◆ 甲州市立勝沼中学校
- ◆ 甲州市立松里中学校
- ◆ 山梨大学教育学部附属中学校
- ◆ 山梨県立わかば支援学校
- ◆ 山梨県立わかば支援学校
ふじかわ分校

わたしたちの研究室は、山梨県立考古博物館が主催する小・中学生を対象とした歴史・考古学分野の自由研究コンクールです。特に優秀な作品を表彰すると共に、応募いただいたすべての作品を当館で展示公開しています。

A. 所在地：山梨県甲府市下向山町1271

※考古博物館から車で約7分、歩いて約20分ほど離れたところにある施設ですので、ご利用の際にはご注意ください。

ご予約は風土記の丘研修センター ☎ 055-266-5286 へ



縄文土器野焼きの様子

風土記の丘研修センターでは、年間を通じてさまざまなものづくり教室を開催しています。教室には16歳以上の一般の方を対象とした「**原始古代の技に学ぶ**」と、小・中学生の親子を対象とした「**チャレンジ博物館**」とがあり、講師の指導のもと、土器や土偶、青銅器の製作をはじめとした、原始・古代にちなんだ多種多様なものづくりに挑戦することができます。

新年度のメニューは次ページを参照

また、こうした年間予定で決められた教室のほかに、少人数での申し込みも随時受け付けており、古代の火起こしや勾玉作り、青銅鏡作りなどの体験に個人グループでご参加いただけます（要予約・日程は応相談）。ぜひ当施設ならではのアクティビティをお楽しみください。



青銅器鑄込みの様子

青銅鏡作り体験



対 象 | 小学校5年生以上（小・中学生は要保護者同伴）
時 間 | 5～6時間程度（10時～16時頃 ※昼食時間含む）
費 用 | 1枚 8000円～（種類によって変動）
【12月～3月は体験休止】

製作する鏡の種類はホームページでご確認ください。



古代の火起こし

未就学児は
応相談

対 象 | 小学生以上
（小学3年生以下は要保護者同伴）
時 間 | 40分程度
費 用 | 無料

勾玉作り体験

未就学児は
応相談



対 象 | 小学生以上
（小学3年生以下は要保護者同伴）
時 間 | 90分程度
費 用 | 1個 300円～

トンボ玉作り体験

1人3個まで



対 象 | 小学生以上（小学3年生以下は要保護者同伴）
時 間 | 60分程度（人数・個数により変動）
費 用 | 1個 500円～（種類によって異なります）

諸注意

- 体験希望日の1週間以上前に風土記の丘研修センターへご予約ください【青銅鏡のみ1か月前まで】。
- 体験は考古博物館を見学された方に限らせていただきます。
- すべての体験は1名から対応します【年齢による】。

※2025年3月現在の情報です。体験内容や価格は変更になる場合がありますので、ご予約の際には最新情報をご確認ください。

	企画・特別展	ものづくり教室 原始・古代の技に学ぶ	ものづくり教室 チャレンジ博物館	講演会・講座	祭り・その他
2025					
4	春季企画展	19・20 第1回 蜜柑玉・トンボ玉作り 【単独2回講座】 ◇春季企画展連携			
5	「帆立貝古墳の ミステリー」 一三珠大塚古墳と 甲府盆地の5世紀— 4/19-6/15	24 第2回 巫女形埴輪作り ◇春季企画展連携	11 第1回 古墳時代の大きな勾玉の ペンダントづくり ◇春季企画展連携		3・4 第36回 風土記の丘こどもまつり 共
6	六鈴鏡 大塚古墳▶ 市川三郷町教育委員会蔵		1 第2回 古墳時代の埴輪をつくろう ◇春季企画展連携	8 第1回館長講座 14 第1回考古学講座 28 第2回考古学講座	風土記の丘で 七夕飾り 6/21 7/6
7	夏季企画展	19 第3回 青銅器作り ～蕨手刀形 ペーパーナイフ～	6 第3回 戦国時代の紙漉きで うちわづくり	12 第3回考古学講座 26 第4回考古学講座	5・6 山梨の七夕人形をつくろう
8	「釣手土器の世界」 7/12-8/31	23 第4回 コーヒー染めの エコバッグ作り ◇特別展連携	3 第4回 縄文風陶器づくり 24 第5回 弥生時代の矢じりの ペンダントづくり		夏休みイベント 7/26 8/31
9	◀釣手土器 安道寺遺跡 当館蔵 臨時休館 9/20-26	27 第5回 貝を使った バブア風ネックレス作り ◇特別展連携	14 第6回 江戸時代の藍染め	7 第2回館長講座	
10	第42回特別展		5 第7回 縄文時代の土面づくり ◇特別展連携		19 秋のふれあいまつり 共 25 風土記の丘で星を見る会 共
11	「PAPUA×JOMON」 縄文文化の謎を考える —パプアニューギニアの 民族誌— 9/27-12/7	15 第7回 干支（午）土鈴と 陶器作り	9・30 第8回 縄文土器を つくって焼き上げよう 【2回連続講座】 ◇特別展連携		3 樹木医と学芸員の ガイドツアー 共 20 県民の日イベント 23 落ち葉で焼きいも！ 共
12	臨時休館 12/9-14	20 第8回 縄文土器作り① 【3回連続講座】	7 第9回 縄文と干支の土鈴づくり ◇特別展連携	7 第3回館長講座	
2026	パプアニューギニア ◀仮面土器 早稲田大学蔵 臨時休館 1/13-18	10・31 第8回 縄文土器作り②③ 【3回連続講座】	25 第10回 火起こし器をつくって 火を起こそう		2・3 お正月イベント 12 古代米でもちつき大会 共 31 第23回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会
1	第23回 わたしたちの研究室 研究成果展示会 1/31 2/22				
2	風土記の丘望見展 山梨の遺跡 発掘展跡 2026 3/7 4/5	7・8 第9回 青銅鏡形 チョコレート作り 【単独2回講座】	15 第11回 弥生時代の土笛づくり		
3		14 第10回 石製ペンダント作り	1 第12回 縄文時代の土偶づくり	22 第4回館長講座	8 春まつり

※特別展の準備・撤収および館内整備のため 枠の期間は臨時休館となります。尚、予定は変更になる場合がありますので、最新情報はホームページまたは電話にてご確認ください。

※各種ものづくり教室・考古学講座・ピンク字のイベントの会場は風土記の丘研修センターです。また、ものづくり教室や講座などの事前申し込みが必要なイベントは、開催日の1か月前から募集を開始します（定員になり次第受付終了）。

考古学講座

「遺跡発掘秘話」

会場

風土記の丘
研修センター

13:30-15:00

山梨県内の著名な遺跡の発掘者をお呼びし、現場に居た人しか知らない貴重なエピソードを交えながら遺跡の魅力を紹介します。

令和7年度

講演会

講座

主催

山梨県立考古博物館

講師

身延山大学講師 保坂 康夫 氏

第1回 6.14(土)

北杜市丘の公園遺跡群発掘秘話

—貴重な約2万年前の旧石器時代のムラと発掘方法の革命—

講師

山梨県考古学協会会長 新津 健 氏

第2回 6.28(土)

北杜市金生遺跡発掘秘話

—ハヶ岳を臨む縄文晩期の祭祀跡—

講師

山梨県考古学協会名誉会長 末木 健 氏

第3回 7.12(土)

甲斐市金の尾遺跡発掘秘話

—中央自動車道建設で見つかった弥生と縄文の集落と墓域—

講師

元埋蔵文化財センター 考古博物館
調査研究課長 学芸課長
小林 広和 氏 野代 幸和 氏

第4回 7.26(土)

甲州市安道寺遺跡発掘秘話対談

—あの水煙土器はこうして見つかった—

要予約

各回開催日の1か月前より電話またはホームページの
電子申請にて予約を受け付けます(定員になり次第終了)。

当館館長 高橋龍三郎(早稲田大学名誉教授)による

オンライン 館長講座

リモート

「学際的研究と発見—考古学研究の未来—」

今年度は特別展「PAPUA×JOMON」の開催にちなみ、パプアニューギニアとオセアニアの民族誌をヒントに、日本の縄文文化についてあたたかい見地から深掘りします。

第1回 6.8(日)

石器時代にもっとも近い国
パプアニューギニア

第2回 9.7(日)

オセアニアの民族誌と考古学

第3回 12.7(日)

科学で読み解く縄文社会

第4回 3.22(日)

縄文土器を作った人々の心象世界

要予約

各回開催日の1か月前よりホームページにて
予約を受け付けます(定員になり次第終了)。

※リモート配信へのお申込みは電話・来館での受付はできません。

このほか特別展
記念講演会も
開催予定/
詳細は後日公開

※内容は変更になる場合があります。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館

開館時間 9時～17時

TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882 【入館は16時30分まで】

観覧料 <常設展>

一般・大学生 220(170)円

高校生以下 無料

65歳以上の方 無料(要証明書)

<特別展の場合は県内在住の方のみ無料>

休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

祝・祭日の翌日(土・日・祝は除く)

年末年始(12月29日～1月1日)

風土記の丘研修センターは1月3日まで休館

令和7年度臨時休館

9月20日(土)～26日(金)

12月9日(火)～14日(日)

令和8年1月13日(火)～18日(日)

※展示会準備・撤収・館内整備のため

風土記の丘研修センター

開館時間

TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287 8時30分～17時

学校(団体)の利用について

教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される
場合は事前に見学の申し込みをお願いいたします。
見学時間を十分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。
学校見学の申し込みと問い合わせ先: 風土記の丘研修センター

考古博物館定期観覧券【1年間当館の常設展と特別展を何回でも観覧可】

一般・大学生 1,360円

ミュージアム甲斐 in 券【4館共通定期観覧券(年間パスポート券)】

※当館・県立博物館・県立美術館・県立文学館の4館で1年間有効。

一般 5,240円 大学生 2,620円

交通アクセス

路線バスの利用◆JR甲府駅より豊富行(中道橋経由)「県立考古博物館」下車
自家用車の利用◆中央自動車道甲府南ICより1分(インター正面)

発行日

令和7年3月21日

発行所

山梨県立考古博物館

住所

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923

電話

055-266-3881

印刷

株式会社 映南堂印刷所

本号には令和7年度の年間スケジュールならびに令和6年度下半期の開催報告を掲載しております。この春は三珠大塚古墳にスポットを当て、帆立貝古墳の謎にせまる企画展を開催するほか、秋の特別展「PAPUA×JOMON」に向けた講座などもスタートします。これまでにない見地から縄文を深掘る1年となりますので、ぜひご期待ください(あ)。